

オスプレイ配備を 許すな! 10.6 討論集会

度重なる事故によりその安全性に重大な欠陥があると指摘され、さらに離発着時の強い下降気流等による環境への悪影響から、アメリカでは、訓練の延期・中止の決定が続いている新型輸送機オスプレイ。その沖縄・普天間基地への配備と日本全国での低空飛行訓練が、日米両政府によって強行されようとしています。このオスプレイ配備は、「対テロ戦争のための在日米軍」「日本全土の訓練基地化」「地位協定によって国内法を超越した米軍」等、日米安保の本質を露わにしています。「領土問題」の噴出で「在日米軍抑止力」のデマゴギーがまかり通る現在、オスプレイ配備から見えてくる日米安保の問題性を徹底的にあぶり出します。ぜひご参加下さい。

【問題提起】

湯浅一郎さん（ピースデポ代表）

日時*2012年10月6日(土) 午後6時開始

場所*千駄ヶ谷区民会館・第1会議室

資料代*500円

千駄ヶ谷区民会館（JR原宿駅徒歩10分）



主催：反安保実行委員会

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-21-7

静和ビル 2A 淡路町事務所気付

tel&fax:03-3254-5460